

【12月24日限定】

☆川奈ホテル 魔法のクリスマス☆

Christmas Concert

コンサートが開催されるサンパーラーは相模灘一望の半円形のガラス張りで、自然にゆったりと浸りお過ごしいただく目的で造られ、ゆとりある演出がされています。

魔法のクリスマスプランは、国の登録有形文化財にも登録された本館にあるラウンジ「サンパーラー」の「オーケストラボックス」で戦後初めての試みのコンサートを行います。

レストランで夕食をお召し上がりいただいた後に、サンパーラーへ移りクリスマスの雰囲気の中でデザートとともにコンサートをお楽しみください。

※コンサートをお楽しみいただくには、「魔法のクリスマス」ご宿泊プランのご予約が必要となります。「魔法のクリスマス」ご宿泊プランのご予約はコチラから⇒<http://www.princehotels.co.jp/page.jsp?id=208564>

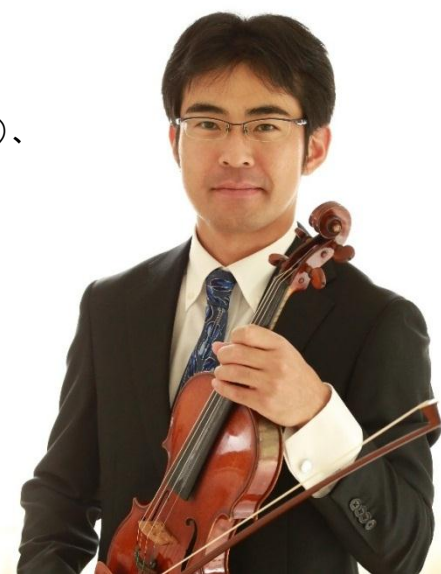


サンパーラー

＜クリスマスコンサート奏者＞

相原千興（ヴァイオリン）

1987年NHK朝の連ドラ“チョッちゃん”のヴァイオリン少年を演じ、好評。
NHK毎日新聞学生音楽コンクール、江藤俊哉ヴァイオリンコンクール、日本モーツァルト音楽コンクール(ザルツブルグ派遣)、第7回JILA音楽コンクール等、数々のコンクールに入選、入賞、優勝。
第11回日本オーストリア文化協会オーディション合格、サントリーホール(小)のフレッシュコンサート出演。
ハーブ、J. モルナール氏と共演。イエルク・デムス氏と、氏のヴィオラソナタを本邦初演。
久石譲監督音楽映画“カルテット”に弦楽四重奏で出演。
平成16年度文化庁新進芸術家後援事業の公演に出演。
クライネス・コンツェルトハウス欧州公演にてスイス、オーストリアにて演奏と、華々しく活躍。
名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京ニューシティー管弦楽団と共演。
桐朋学園大学音楽学部演奏学科(弦)卒業。同大では学長故江藤俊哉氏、アンジェラ氏に師事。
国際音楽祭、マスターコース等を通し、国内外の教授、演奏家、指揮者方からも教えを受ける。
現在、フィルハーモニカ・トウキョウ、オーケストラ・ナデージダ、東京チェンバーフィルハーモニック、東京フォルトウーナ室内管弦楽団のコンサートマスター、カルテット・グラーツィアの第一ヴァイオリンを務める。



大澤明子（フルート）

東京藝術大学、及び同大学院を修了。在学中、安宅賞を受賞。
`81年、ルヴァンヴェール木管五重奏団結成に参加し、第18回民音室内楽コンクール第1位受賞、第34回ミュンヘン国際コンクール木管五重奏部門ではファイナリストの実績を残し、ALMレコードより、フランス近代音楽を中心とした＜パナシェ＞と、シェーンベルクとタファネルの作品による2枚のアルバムが発売され、いずれも高い評価を得ている。
`96年に東京文化会館小ホールに於いて第一回リサイタル、翌年、板橋アクトホールにおいて第2回リサイタルを開催。また東京文化会館で行われる古典音楽協会の定期演奏会では、バッハによる協奏曲等のソリストとして度々共演している。
`06年より＜フルート室内楽の喜び＞を企画主宰し、これまでに近江楽堂、東京文化会館小ホール、ムラマツホールにて10回のコンサートを開催している。
フルートを鈴村栄里子、宮本明恭、川崎優、湯川和雄、金昌国、ハンス・ペーター・シュミッツ、各氏に師事。
現在、東京芸術大学管弦楽研究部(芸大フィル)フルート奏者、ムラマツフルートレッスンセンター講師、またソロ、室内楽の分野で活躍している。

三間早苗（チェロ）

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、同大学研究科修了。
卒業後、草津、秋吉台、とやま室内楽フェスティバル、ヘッペンハイム、ウインダミア等の国際音楽アカデミーやフェスティバルなどにおいて研鑽を積む。
チェロを音川健二、金木博幸、称原哲雄の各氏に、室内楽を久保良治、ゴールドベルク山根美代子の各氏に師事。
現在、室内楽、オーケストラ、ライブなどの他、大学の同期生を中心として結成したカルテット・カノーロのメンバーとして、毎年定期演奏会を中心に演奏活動を行っている。
アコーディオン・ピアノ・ヴァイオリンとともにユニット“アージュ”のメンバーとして1stアルバム『アージュ・デビュー』をリリース。

